

経営比較分析表（令和6年度決算）

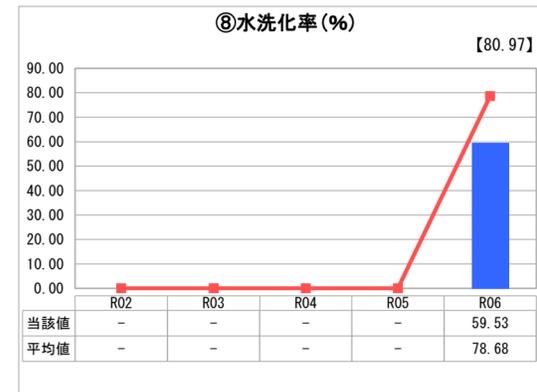
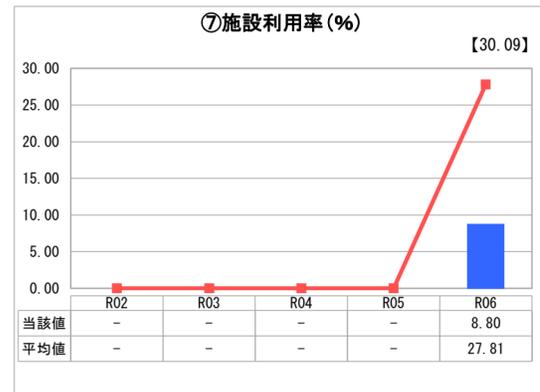
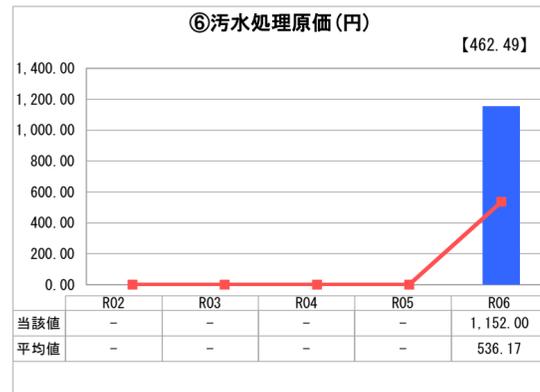
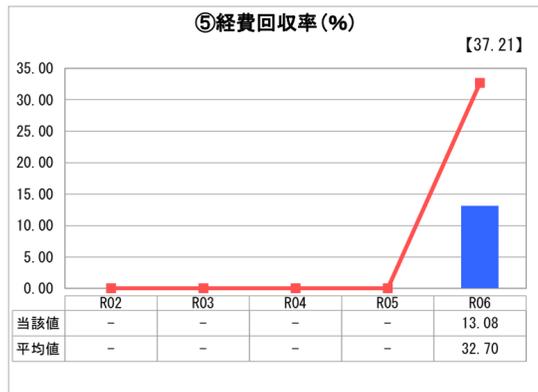
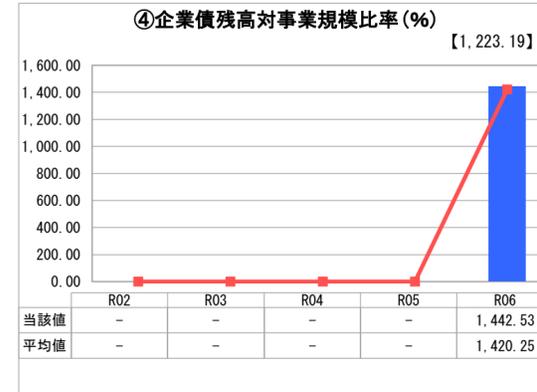
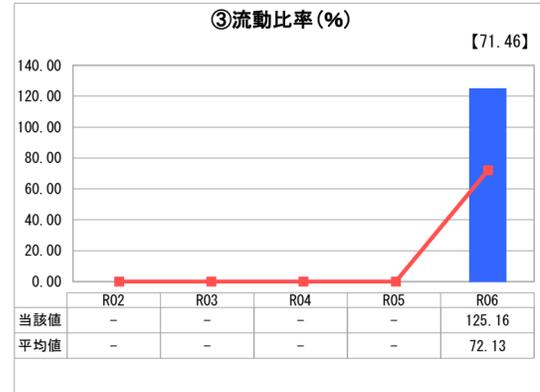
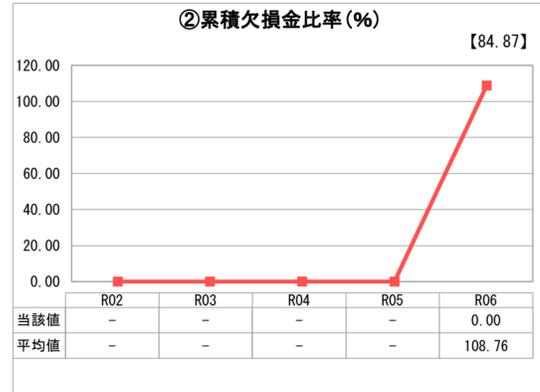
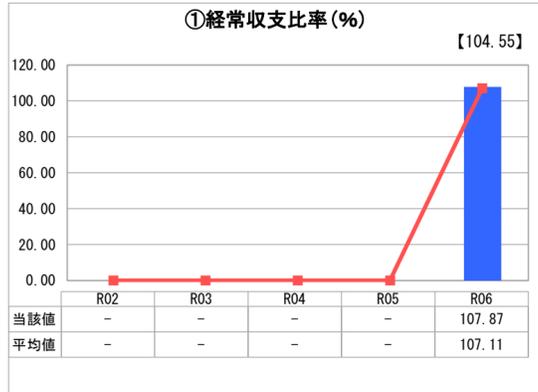
熊本県 宇土市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.76	1.06	90.45	3,058

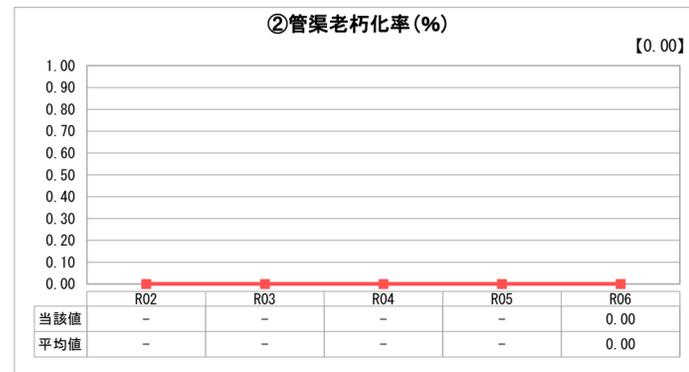
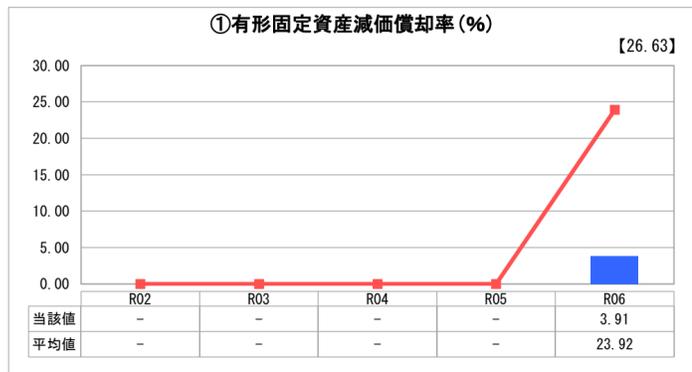
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
36,143	74.30	486.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
383	0.14	2,735.71

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年4月1日から法適用となり、法適用後初めての決算となった。

①経常収支比率は100%を超えており、②累積欠損金比率も生じていないが、これは使用料以外の収入（一般会計からの繰入）によるものであり、一般会計からの繰入に依存しているため、今後は、使用料収入の増加と経費削減策を講じていかなければならない。

③流動比率は類似団体・全国平均を大きく上回っているが、これは一般会計からの繰入によるものである。

④企業債残高対事業規模比率は全国平均を上回り高い位置にある。今後は耐用年数を迎える機器等の更新が控えているため、企業債発行の適正化に努める必要がある。

⑤経費回収率は類似団体・全国平均よりも低く、⑥汚水処理原価においても類似団体・全国平均を大きく上回っており、使用料で回収すべき経費を賄えていない状況にある。今後は、維持管理費の削減とあわせて料金設定の適正化を図っていく必要がある。

⑦施設利用率は、類似団体と比べて低い。今後は、ダウンサイジングを取り入れ、規模に応じた施設を検討しなければならない。

⑧水洗化率は利用者が少ないことから類似団体と比べて低い。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は類似団体・全国平均よりも低く、②管渠老朽化率および③管渠改善率ともに該当なしとなっている。これは、漁業集落排水事業は平成12年から管路整備を開始し平成21年に供用を開始しており、現在のところ、法定耐用年数を過ぎた管路は存在せず、処理場施設についても大規模な更新を行っていないためである。しかし、マンホールポンプや処理場施設の機器等については耐用年数による更新時期が迫っているため、今後は計画的な更新や維持管理に努め、健全な状態を保っていく必要がある。

全体総括

漁業集落排水事業は収入の多くを一般会計からの繰入に依存している状況であり、汚水処理原価が高く、経費回収率も低い。その結果、事業に必要な維持管理費を利用者の料金収入で賄えておらず、漁業集落排水事業単独での経営が難しい状況にある。人口減少や物価高騰が進む中、今後は、料金改定による収入の増加や施設の維持管理費の削減を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。